

横浜市で発生した風水害一覧

(大正6年以降)

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
T 6	10.1	風水害、高潮	横浜市では中等潮位上 29.9mを記録したが、被害については、東京湾では高潮が起り、家屋、船舶の流失等が甚だしく、東京湾付近全体で死者500人、傷者960人、行方不明60人、家屋全壊4,000棟、家屋半壊4,700棟、家屋流出1,100棟、床上浸水131,000棟、床下浸水49,000棟、船舶流失、沈没3,100隻となっている。	午前2時30分に沼津付近に上陸した台風は午前3時30分には早くも埼玉県浦和付近に達した。これは横浜の北側を通過した中級の台風である。 横浜での最低気圧 715.4mmHg 最大風速 32.7m (南々西) 降雨量 県の西部 300mm 東部 100~150mm
T 9	9.29 ~30	風 水 害	神奈川県下の被害 死者 65人 傷者 42人 家屋全壊 177棟 家屋半壊 150棟 床上浸水 3,544棟 床下浸水 12,147棟 堤防欠損 28箇所	ラサ島から九州南の沖、土佐沖を経て、房総半島をかすめ、北東進して三陸沖からオホーツク海に去った台風。県東部及び足柄下郡に起ったが、戸塚付近が特に甚だしかった。 最大風速 北々西 20.2m 気圧 735.6mmHg 降雨量 310mm
S 13	6.27 ~30	水 害	死傷者数の大部分はがけ崩れによって生じ、横浜市に多い。 神奈川県下の被害 死者 52人 傷者 59人 行方不明 1人 家屋全壊 125棟 家屋半壊 116棟 床上浸水 7,104棟 床下浸水 20,687棟	前線による降雨量(27~30日) 400mm
	8.31 ~9.1	風 水 害	金目、中津、小鮎、玉川等及び鶴見・多摩の諸河川氾濫 神奈川県下の被害 死者 6人 傷者 16人 船舶被害 26隻 家屋全壊 719棟 家屋半壊 3,467棟 床上浸水 1,309棟 床下浸水 5,755棟	八丈島付近より北上、三浦半島を通り、関東を縦断し、秋田にぬけた台風 横浜における最低気圧728.2mmHg最大風速 37.4m 降雨量 116mm 横浜で台風が目みられた。
S 23	9.16 ~17	アイオン台風	死者 1人 傷者 2人 家屋全壊 10棟 家屋半壊 3棟 床上浸水 161棟 床下浸水 2,121棟 堤防欠損 37箇所 船舶流失及び破損 19隻 田冠水 333ha 畑冠水 11.7ha	マーシャル群島に発生、潮岬の沖合いを北東に転向、伊豆半島南端をかすめ、富崎、木更津間に上陸、銚子の北を通った台風 北の風 25.8m 降雨量 157.7mm

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
S 24	8.31 ~9.2	キティ台風及 び豪雨	死者 9人 傷者 29人 家屋全壊 96棟 家屋半壊 112棟 床上浸水 899棟 床下浸水 4,791棟 堤防欠損 4箇所 船舶被害 24隻 住家流失 6棟 がけ崩れ 21箇所	マーガス島付近に発生、大島の西を通り、小田原付近の上陸、新潟より日本海にぬけた台風 風向 南々東 風速 32.5m 気圧 736.08mmHg 降雨量 54.3mm
S 25	6.14	豪 雨	死者 2人 行方不明 1人 住家全壊 2棟 住家半壊 5棟 床上浸水 440棟 床下浸水 863棟 堤防欠損 6箇所 橋流失 1件	東日本に停滞した前線による。 降雨量 238mm
S 27	6.24	ダイナ台風	死者 4人 傷者 3人 住家全壊 7棟 住家半壊 3棟 床上浸水 15棟 床下浸水 628棟 住家流出 1棟 橋流失 2件 田冠水 2,700ha がけ崩れ 18箇所	紀伊半島—静岡—関東—三陸 風速 21.0m 降雨量 130mm 気圧 984.5mb
S 28	9.25	台風 13 号	傷者 2人 住家全壊 13棟 住家半壊 24棟 床上浸水 48棟 床下浸水 395棟 堤防欠損 1箇所 がけ崩れ 4箇所 田冠水 11ha 畑冠水 16ha り災者総数 600人 その他 83件	潮崎—中部地方—奥羽地方 風速 22.3m 気圧 985.5mb 降雨量 126mm
S 29	6.26 ~24	大 雨	死者 1人 傷者 11人 住家全壊 12棟 住家半壊 8棟 床上浸水 1棟 床下浸水 6棟 道路被害 2箇所 鉄道被害 1件 田冠水 99ha 畑冠水 7ha がけ崩れ 58箇所 その他 1件	梅雨前線による 降雨量 121mm

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
S 31	10.30 ～31	豪 雨 (低気圧による)	死者 7人 傷者 17人 住家全壊 14棟 住家半壊 15棟 床上浸水 193棟 床下浸水 1,759棟 堤防欠損 3箇所 橋流失 1件 鉄道不通 2箇所 道路被害 1件 がけ崩れ 74箇所 その他 8件	風速 10.1m 気圧 1,000.8mb 降雨量 104.8mm
S 33	7.23	台 風 11号	傷者 4人 住家全壊 54棟 住家半壊 114棟 床上浸水 27棟 床下浸水 1,309棟 田冠水 102ha 畑冠水 8.5ha がけ崩れ 33箇所	御前崎—関東地方—三陸沖 風速 29.2m 気圧 986mb 降雨量 155mm
	9.25 ～26	台 風 22号 (狩野川台風)	死者 61人 傷者 134人 家屋全壊 403棟 家屋半壊 595棟 床上浸水 10,010棟 床下浸水 14,026棟 がけ崩れ 1,029箇所 り災者総数 119,867人	この台風は、伊豆半島に最大の被害を及ぼし、「狩野川台風」と呼ばれている。グアム島東方海上に発生、最盛期はかなり長かったが、伊豆半島に近づくにつれ、急速に衰えてきた。大島の西方から江の島に上陸、横浜、東京を通り鹿島灘にぬけた。 風速 28.8m降 雨量 321.2mm
S 36	6.28 ～29	集 中 豪 雨	死者 22人 傷者 32人 家屋全壊 87棟 家屋半壊 110棟 家屋一部壊 130棟 床上浸水 6,332棟 床下浸水 13,624棟 堤防欠損 1箇所 橋流失 3件 田冠水 66ha 畑冠水 206ha がけ崩れ 443箇所	この集中豪雨は、梅雨前線の活動が熱帯性低気圧の影響を受け活発化したもので、各地にがけ崩れを起し、また中小河川の多くが氾濫して、低地帯は広範囲にわたって浸水した。
	10.9	台 風 24号	家屋全壊 3棟 家屋一部壊 15棟 床上浸水 4棟 床下浸水 500棟 道 路被害 8箇所 がけ崩れ 4箇所	マリアナー本州南方—房総—北海道南方 風速 33.8m降 雨量 101.7mm
S 40	8.22	台 風 17号	床上浸水 113棟 床下浸水 1,859棟 がけ崩れ 35箇所	伊豆半島南部に上陸、県中央部を北東進 最低気圧 993.4mb 最大風速 14.2m 21～23日総雨量 148.0mm

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
S 40	9.17	台 風 24 号	重傷 4人 軽傷 1人 床上浸水 40棟 床下浸水 724棟 がけ崩れ 120箇所	渥美半島に上陸し、関東地方北部を通 過 最低気圧 979.5mb 最大風速 21.7m 17～18 日総雨量 134.5 mm
S 41	6.28	台 風 4 号	死者 32人 傷者 50人 住家全壊 110棟 住家半壊 140棟 床上浸水 9,835棟 床下浸水 35,922棟 り災世帯 51,599世帯 り災人員 197,880人 がけ崩れ 850箇所	関東地方の南海上を北東進 最低気圧 979.3mb 最大風速 18.2m 27～28 日総雨量 267.5 mm (災害救助法適用)
	9.24	台 風 26 号	死者(船) 9人 傷者 9人 住家全壊 20棟 住家半壊 255棟 床下浸水 99棟 がけ崩れ 4箇所	御前崎付近に上陸し、山梨県を経て 北々東進 最低気圧 990.8mb 最大風速 26.5m (瞬間最大 41.4m) 総雨量 86.2mm
S 45	7.1	集 中 豪 雨 (梅雨前線と低気 圧)	死者 3人 傷者 7人 住家全壊 7棟 住家半壊 5棟 床上浸水 154棟 床下浸水 2,988棟 り災者数 605人 がけ崩れ 115箇所	1日朝、南岸沿いと日本海を並行して 東進した低気圧が梅雨前線を刺激し、 関東南部(神奈川県及び千葉県南部) に集中豪雨を降らせた。このため、 山・がけ崩れの多発による人的被害、 家屋の浸水等の被害が大きかった。総 雨量 200.5mm (横浜1時間最大降雨量 53.0mm)
S 46	8.31 ～9.1	台 風 23 号	死者 1人 床上浸水 129棟 床下浸水 1,383棟 り災者数 425人 がけ崩れ 25箇所	南鳥島付近で発生、西進した台風23 号は、最盛期の8月29日、九州南部 に達し、四国南岸から大阪湾に入り、 紀伊半島北部を横断、東海筋を荒らし て、相模湾から房総半島を北上、鹿島 灘にぬけた。総雨量 192mm
S 47	2.14	集 中 豪 雨 (梅雨前線)	住家半壊 1棟 住家一部壊 6棟 床上浸水 104棟 床下浸水 671棟 り災世帯数 133世帯 り災者数 538人 がけ崩れ 23箇所	日本海と太平洋沿岸を2つの低気圧 が急速に発達しながら東進し、この気 圧の低い部分に南から湿った空気が 流れ込んで、激しい風雨に見舞われ た。
	7.12	集 中 豪 雨 (梅雨前線)	住家一部壊 1棟 床上浸水 101棟 床下浸水 542棟 り災世帯数 105世帯 り災者数 434人 がけ崩れ 11箇所 県下で西丹沢の足柄郡山北町 では、山あいの村落が大規模 な山崩れにより壊滅した。	本州中部東西に停滞した梅雨前線に より西日本一帯に大雨を降らした強 雨域は、関東南部まで広がってきた。 また、本州の東方海上には、台風6、 7、8、9号と4つの台風が発生、西 進し、太平洋高気圧のふちに沿って暖 かく湿った空気(湿舌)が本州一帯に 流入するとともに、上層から南下して きた冷たい空気との間に大気成層の 不安定化が著しくなり、各地で前線の 活動が活発となった。

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
S 47	9.15 ～16	台 風 20 号	住家半壊 2 棟 住家一部壊 15 棟 床上浸水 289 棟 床下浸水 1,285 棟 り災世帯数 330 世帯 り災者数 1,121 人 がけ崩れ 63 箇所	揚子江下流に発生した低気圧に伴う前線の活動により、15 日昼頃より関東南部では雨が強まった。その後、低気圧は日本海を北上し、16 日にはウラジオ付近に達した。一方、台風 20 号は、速度を速めながら北上し、台風の前面で停滞中の前線を刺激し、16 日明け方から南海岸沿いの各地で再び大雨が降り始めた。鳥島—潮岬—富山湾—北海道西方沖総雨量 266mm (緑区)
S 48	11.10	集 中 豪 雨	住家全壊 2 棟 住家半壊 2 棟 住家一部壊 27 棟 床上浸水 1,876 棟 床下浸水 3,898 棟 り災世帯数 1,941 世帯 り災者数 6,319 人 がけ崩れ 141 箇所	紀伊半島にある低気圧に向かって流れ込んできた南海上の暖かい湿った空気が、関東南海上にある温暖前線付近で急上昇したため、横浜地方気象台始まって以来の記録的な大雨となった。 総雨量 214mm (金沢区) 最高時雨量 51mm (//)
S 49	6.9～ 10	雷 雨	住家半壊 5 棟 住家一部壊 4 棟 床上浸水 104 棟 床下浸水 266 棟 り災世帯数 131 世帯 り災者数 473 人 がけ崩れ 10 箇所	市内各所にヒョウを伴う雷雨による被害が出た。これは大陸からの寒気が日本の上空に流れ込んだのと、この日朝からの強い日差しで関東北部から中部山岳地帯の広い範囲に熱雷が発生したためによる。 最高総雨量 70mm (港北区)
	7.8	集 中 豪 雨	住家全壊 6 棟 住家半壊 4 棟 住家一部壊 29 棟 床上浸水 2,333 棟 床下浸水 4,028 棟 り災世帯数 2,791 世帯 り災者数 8,823 人 がけ崩れ 149 箇所	南方海上で急速に発生した台風 8 号は、7 月 1 日以来次第に北また北々西に向きを変え、7 日朝鮮海峡に入り、日本海に進んだ。台風の移動によって、本土に南から湿った空気が押し寄せ、梅雨前線の停滞とともに、各地に厚い雷雲が発生、特に南関東から以西にかけ局地的な集中豪雨となり、横浜市内においても、浸水、がけ崩れによる家屋倒壊等の被害が発生した。最高総雨量 176mm (戸塚区)
S 50	6.10	雷 雨	床上浸水 164 棟 床下浸水 445 棟 り災世帯数 174 世帯 り災者数 615 人 がけ崩れ 7 箇所	大陸からの寒気が入り込み、下層の暖かい空気との間が不安定となり、県下では 10 日夕方から夜にかけて雷雲が発生し、次第に発達し、県北部から北東部にかけて雷を伴う大雨となった。本市緑区ではこのため局地的な集中豪雨に見舞われた。 最高総雨量 172mm (緑区)

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
S 51	9.9~ 13	台 風 17 号	死者 1 人 傷者 1 人 住家全壊 7 棟 住家半壊 6 棟 住家一部壊 22 棟 床上浸水 1,575 棟 床下浸水 4,189 棟 り災世帯数 1,774 世帯 り災者数 6,444 人 がけ崩れ 158 箇所	台風17号は、4日グアム島の南東に発生し、9～11日と九州南方海上の北緯30度ラインで2近く足ふみしたあと、13日長崎市に上陸、玄界灘にぬけた。このため、西日本各地に、日本の年間総雨量(1,700mm)並の豪雨が7日間にわたり降り、各地に第2室戸台風依頼最大のツメ跡を残した。関東地方では、寒冷前線が南からの湿った風を受け活発に活動した9日、11日に強い集中豪雨があった。特に11日の雨域は、平塚上空から本市北部、川崎市多摩区にかけて、長さ約100キロ、幅10キロの厚い雨雲の帯が横断したが、それ以外の地域は晴れ間が見えるなど、局地型の豪雨をもらした。 9日最高総雨量 243mm(緑区) 11日最高総雨量 161mm(戸塚区)
S 52	9.8~ 10	台 風 9 号 (沖永良部台風)	死者 1 人 住家全壊 1 棟 住家半壊 5 棟 住家一部壊 13 棟 床上浸水 945 棟 床下浸水 2,156 棟 り災世帯数 1,009 世帯 り災者数 3,541 人 がけ崩れ 51 箇所	台風9号は、9月3日グアム島の南東海上で発生し、9日沖縄付近を通過、10日未明九州南西海上で向きを西に変えて、中国大陸に向かった。一方、関東北部では九州に至る太平洋側には厚い雨雲があり、台風の影響で前線が刺激され、九州から東海、関東地方など南岸沿いで9日夜から10日未明にかけて強い雨を降らせた。
S 54	10.19	台 風 20 号	死者 1 人 傷者 46 人 住家全壊 1 棟 住家半壊 98 棟 住家一部壊 832 棟 床上浸水 520 棟 床下浸水 640 棟 り災世帯数 2,273 世帯 り災者数 6,958 人 がけ崩れ 11 箇所	台風20号は、10月9日マリアナ南東海上で発生し、急速に発達して、10月12日には870mbまでに気圧が下がった。その後、18日朝沖縄付近に達し、19日には非常に早い速度で九州、四国の南海上を東進し、紀伊半島に上陸、一時低気圧が二つに分かれ内陸部を通過し、三陸沖で再び一つとなり、北海道東部へぬけた。この台風は、昭和33年狩野川台風以来の威力であり、瞬間最大風速37.4mを記録する10月としては観測史上最大のものであった。横浜市内は19日正午過ぎより全域にわたり強風が吹き荒れ、飛散したトタン、木材、窓ガラスによって受傷する者が多発した。降雨量は緑区で155mm(市内最高)を記録したが、平均120mm前後であり、全市的な水害はみられなかったが、横浜駅周辺では満潮と重なり浸水した。 最高総雨量 155mm(緑区)

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
S 56	7.22	集 中 豪 雨	住家一部壊 7棟 床上浸水 149棟 床下浸水 413棟 り災世帯数 176世帯 り災者数 480人 がけ崩れ 4箇所	北海道東方海上の低気圧から南西にのびる寒冷前線が能登半島付近に達していた。また、上空にはオホーツク海方面から寒気が、南からは弱い熱帯低気圧が運ぶ暖かな空気が入って、大気が不安定となった。このため、神奈川県東部では前線の南下に伴い、夕刻にかけ各地で激しい雷雨となった。また、市内で落雷による火災が計5件発生した。 最高時雨量 63mm (港北区)
	10.22 ~23	台 風 24 号	住家一部壊 14棟 床上浸水 67棟 床下浸水 357棟 り災世帯数 69世帯 り災者数 234人 がけ崩れ 33箇所	10月11日ウエーキ島西方250kmで発生した弱い熱帯低気圧は、16日03時サイパン島北西200kmで台風24号となった。その後、20日深夜から21日早朝の間に那覇南方300kmの洋上で進路を北から北東にかえ、22~23日にかけ八丈島の北から房総沖を毎時65~80kmで通過、23日15時には根室東方で温帯低気圧となった。22日最高総雨量 203mm (鶴見区)
S 57	8.1~ 2	台 風 10 号	死者 1人 傷者 3人 半壊 1棟 一部壊 105棟 がけ崩れ 11箇所	台風10号は7月24日南海上で発生し、父島の西側を通過して、2日0時ころ大型で並みの勢力を保ちながら渥美半島に上陸後、本州を横断して日本海へぬけた。このため、全国各地で大きな被害が生じたが、本市では浸水被害はほとんどなく、強風により横浜港で2隻の船舶が壊破し、1人が死亡したのをはじめ、市内各地で風による被害が生じた。 最大風速 SE19.6m/s (2日1:10) 最大瞬間風速 SE40.8m/s (2日1:00)
	9.10 ~12	台 風 18 号	死者 1人 傷者 6人 全壊 25棟 半壊 28棟 一部壊 126棟 床上浸水 1,966棟 床下浸水 5,797棟 り災世帯数 2,396世帯 り災者数 7,494人 がけ崩れ 306箇所	台風18号は、9月6日グアム島の西南海上で発生し、南大東島の東側を北上した。一方、停滞した秋雨前線が台風の北上に伴って活発化し、先行降雨となった。18号は、その後、八丈島の西側を北上し、12日18時ごろ、大型で並の勢力を保って御前崎付近に上陸した。その後、速度を早めながら、東北、北海道を縦断してオホーツク海へぬけた。 本市では、10日から雨が降り続き、12日午後になって一層強まり、1時間42.5mmの記録的な豪雨となった。このため、市内全域で浸水被害、がけ崩れが発生した。 10~12日の最高総雨量 376mm (戸塚区)

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
S 58	8.15 ～18	台 風 6 号 及 び 5 号	負傷者 1人 一部壊 20棟 床上浸水 3棟 床下浸水 47棟	台風5号は日本の南海上を北上、17日7時に渥美半島に上陸した後、東寄りに進み、東海、関東を通り18日早朝鹿島灘に抜けた。一方、台風6号は15日8時ころ三宅島付近を西進、南岸沿いに進み、15時ころ弱い熱帯低気圧となって志摩半島に上陸、徳島県付近で消滅した。この2つの台風の影響で、15日から18日にかけて各地で断続的な強雨に見舞われた。横浜で最大1時間降水54.0mm(15日12時20分まで)を記録。また、総降水量も芦ノ湯で1,094mm(15日0時から18日11時まで)と記録的な大雨となった。
S 60	6.30 ～7.1	台 風 6 号	負傷者 2人 住家半壊 6棟 住家一部壊 84棟 床上浸水 4棟 床下浸水 20棟 り災世帯数 156世帯 り災者数 470人 がけ崩れ 25箇所	台風6号は、6月25日カロリン諸島海域で発生し、29日南大東島の西北西を通り、7月1日3時ごろ静岡県田子の浦に上陸した。その後、毎時80kmと早い速度で北東に進み、福島沖に抜けた。台風の接近で梅雨前線の活動が活発となり、県内各地は暴風と大雨に見舞われ、人的被害が出たほか、家屋の浸水、がけ崩れが発生した。この台風は、県内各地を暴風雨域に巻き込んだが、高速で駆け抜けたため、比較的被害は小さかった。最大瞬間風速SSW39.5m/s(横浜)総降水量169.5mm(横浜)総降水量169.5mm(丹沢湖)
S 61	8.4～ 5	台 風 10 号	床上浸水 2棟 床下浸水 10棟 り災世帯数 2世帯 り災者数 8人 がけ崩れ 1箇所	台風10号は、8月1日ルソン島の東海上で発生し、発達しながら北東に進み、4日21時、静岡県石廊崎の南約120kmの海上で温帯低気圧に変わり、5日未明に房総半島を縦断した。このため、県内各地で大雨が降り、家屋の浸水、がけ崩れの被害が発生した。 日降水量152.5mm(横浜) 日降水量165mm(日吉)日降水量197mm(海老名)
	9.2～ 3	台 風 15 号	床上浸水 1棟 床下浸水 7棟 り災世帯数 9世帯 り災者数 28人 がけ崩れ 2箇所	台風15号は、9月2日八丈島の南約230kmの海上で発生し、3日9時には大島の南南西約50kmの海上で熱帯低気圧に衰えた後、東京湾を北北東に進み、4日朝北海道の南海上で温帯低気圧に変わった。県内各地では2日夕方から3日午前中にかけて大雨となり、家屋の浸水、がけ崩れの被害があった。24時間総降水量117.0mm(横浜)総降水量131mm(日吉)総降水量350mm(箱根)

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
S 62	9.25	集 中 豪 雨 (低気圧による)	住家一部破損 2棟 床上浸水 2棟 床下浸水 6棟 がけ崩れ 25箇所 り災世帯数 156世帯 り災者数 470人	九州付近にあった低気圧が発達しながら東北東に進み、この低気圧にともなう前線活動が活発となり県東部を中心に大雨となった。 相模原 1時間降水量 44mm (港北区) 横 浜 日降水量 40mm
S 63	6.2~ 4	集 中 豪 雨 (低気圧による)	負傷者(軽傷) 1人	九州付近にあった低気圧が発達しながら東北東に進み、また本州南岸にも低気圧が発生し、沖縄付近に台風2号があつて、これから暖かい湿った空気が入り、前線活動が活発となり大雨となった。 日降水量 丹沢湖 149mm 小田原 136mm 箱 根 261mm
	6.16 ~17	集 中 豪 雨 (大気不安定)	住家一部破損 1棟 床下浸水 23棟 がけ崩れ 1箇所	16日から17日早朝にかけて、上空に寒気が入り大気不安定となったため、県北部を中心に雷雨となった。1時間降水量 日吉 38mm
H 1	4.8	集 中 豪 雨 (低気圧による)	住家一部破損 1棟 床下浸水 7棟 がけ崩れ 5箇所	沖縄付近にあった低気圧が発達しながら本州南岸を北東進したため、夕方から夜半にかけて県南部を中心に大雨となった。 横 浜 日降水量 142.5mm 1時間降水量 41.5mm
	7.25 ~26	集 中 豪 雨 (大気不安定)	床上浸水 1棟 床下浸水 17等 がけ崩れ 1箇所 り災世帯数 1世帯 り災者数 3人	上空に寒気が停滞し、本州南方に台風第11号があり、南海上から暖かく湿った空気が入り大気不安定となって、雷を伴い大雨となった。 1時間降水量 海老名 35mm 小田原 34mm
	8.1	集 中 豪 雨 (大気不安定)	住家一部破損 2棟 床上浸水 302棟 床下浸水 890棟 がけ崩れ 13箇所 り災世帯数 344世帯 り災者数 909人	本州南方に台風第12号と熱帯低気圧があつて南から湿った空気が入り、一方上空には寒気があつて大気が不安定となり大雨となった。 横 浜 日降水量 206.0mm 1時間降水量 39.0mm
H 2	8.9~ 10	台 風 11 号	床上浸水 51棟 床下浸水 46棟 り災世帯数 58世帯 り災者数 184人	10日午前7時頃に御前崎付近に上陸した台風第11号は、北東進しながら正午前に神奈川県と山梨県の県境を通過した。 1時間降水量 箱根 65mm 総雨量 箱根 543mm
	9.15	集 中 豪 雨 (秋雨前線)	床下浸水 22棟	本州南岸に秋雨前線が停滞し、南方には台風第19号があり、暖かい湿った空気が入り、前線活動が活発となって箱根を中心に雷を伴い大雨となった。 日降水量 箱根 275mm

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
H 2	9.19 ~20	台 風 19 号	住家一部破損 2 棟	19 日夜、和歌山県に上陸した台風第 19 号は、本州を縦断し 20 日三陸沖に抜けた。この台風により大雨となり川崎市で龍巻が発生した。 横浜 1 時間降水量 19.5mm
	9.30	台 風 20 号	負傷者(軽傷) 2 人 住家一部破損 13 棟 床上浸水 601 棟 床下浸水 734 棟 がけ崩れ 31 箇所 り災世帯数 685 世帯 り災者数 1,998 人	30 日朝、紀伊半島に上陸した台風第 20 号は、東海、関東南部を通り房総沖に抜けた。このため、30 日昼頃から大雨となり、県内各地で 200mm 前後の雨量となった。 横浜 日降水量 107.5mm 1 時間降水量 55.0mm
H 3	9.8~ 9	台 風 15 号	床下浸水 6 棟	8 日東海沖で北東に向きを変え、八丈島付近を通って関東の東海上を北東に進んだ。このため、市内では大雨となった。 横浜 総降水量 163.5mm 日降水量 144.0mm
	9.19 ~20	台 風 18 号	死者(女性) 1 人 負傷者(軽傷) 1 人 住家半壊 1 棟 住家一部壊 22 棟 床上浸水 115 棟 床下浸水 157 棟 がけ崩れ 45 箇所	18 日から 19 日にかけて、沖縄の東海上から北東進んで房総沖に進み、本州南岸に停滞していた秋雨前線を刺激した。このため、東海から関東地方にかけて大雨が降った。 横浜 総降水量 253.0mm 日降水量 225.5mm
	9.28	台 風 19 号	住家の一部破損 7 棟	27 日から 28 日にかけて、沖縄付近から九州北部に上陸し、日本海を通り北海道に再上陸した。九州各地では記録的な強風が吹き、県内では 28 日未明に強風に見舞われた。 横浜 日最大瞬間風速 南々西 29.4m/s
	10.7 ~11	秋雨前線の停滞	住家の全壊 1 棟 住家の一部破壊 13 棟 がけ崩れ 3 件	本州南岸に停滞していた秋雨前線が台風 21 号の影響もあって活発となり、本州南岸や伊豆諸島で大雨となった。 横浜 総降水量 139mm
	10.11 ~12	台 風 21 号	住家の一部破損 1 棟 がけ崩れ 2 箇所	大型で非常に強い台風は、日本の南海上を秋台風としては珍しくゆっくりと北上した。このため、南岸を中心に広範囲で大雨となった。 横浜 総降水量 338.5mm 日降水量 93.5mm

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
H 4	1.31 ~2.1	大 雪	死者(女性) 1人 負傷者(軽傷) 177人 住家一部破損 5棟	低気圧が発達しながら関東の南岸を北東に進み、寒気が南下して関東地方から東北地方にかけて大雪となった。県内では、31日の昼過ぎから降りだした雪は1日早朝まで降り続いた。積雪 1日9時現在 横浜 14cm 箱根 38cm
	7.15 ~16	集中豪雨 (梅雨前線停滞)	住家一部破損 1棟 床上浸水 4棟 床下浸水 12棟 がけ崩れ 1箇所 り災世帯数 4世帯 り災者数 14人	15日、本州南岸に梅雨前線が停滞し、南から湿った空気が入り大気が不安定となって、県東部の一部で大雨となった。 最大1時間降水量 横浜 41mm 日吉 40mm
	10.9	集中豪雨 (低気圧の通過)	負傷者(軽傷) 1人 住家一部破損 3棟 床下浸水 3棟 がけ崩れ 3箇所	8日夜から9日の朝にかけて、発達中の低気圧が本州の南海上と日本海を北東に進み、県東部を中心に雷を伴う大雨が降った。特に三浦半島では9日未明激しい雨が降った。1時間降水量 三浦 49mm 横浜 25.5mm 総雨量 三浦 185mm 横浜 131mm
H 5	8.26 ~28	台風 11号	負傷者(軽傷) 1人 住家全壊 1棟 住家一部破損 8棟 床上浸水 4棟 床下浸水 4棟 がけ崩れ 18箇所 り災世帯数 5世帯 り災者数 16人	27日房総半島に接近した台風11号により、県内は暴風雨となった。 横浜 最大風速 N 16.0m/s 最大瞬間風速 NNW 29.2m/s 日降水量 206.5mm 最大1時間降水量 33.0mm 最大24時間降水量 237.0mm 日吉 日降水量 209mm 最大1時間雨量 37mm
	11.13 ~14	集中豪雨 (低気圧の通過)	住家一部破損 4棟 床上浸水 307棟 床下浸水 301棟 がけ崩れ 14箇所 り災世帯数 388世帯 り災者数 1,077人	13日紀伊半島付近に発生した低気圧が南岸を通過し、深夜から未明にかけて、雷を伴う激しい雨が県内全域に降った。 日降水量 辻堂 176mm 横浜 122.5mm 最大1時間雨量 辻堂 66mm 横浜 44mm

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
H 6	7.12	大 雨 (寒冷前線通過)	負傷者(重傷) 1人 住家一部破損 1棟 床上浸水 77棟 床下浸水 98棟 がけ崩れ 1箇所 り災世帯数 94世帯 り災者数 263人	12日は寒冷前線の通過のあと大気不安定となり、夕方より夜半にかけて県内東部で激しい雷雨となった。日降水量 横浜 3mm 相模原 26mm 海老名 23mm 辻 堂 54mm
	7.18	大 雨 (寒冷前線南下)	床上浸水 11棟 床下浸水 51棟 り災世帯数 12世帯 り災者数 36人	18日は寒冷前線が南下した後、上空に寒気が入って大気不安定となった。正午頃より夜半にかけて、県内全域で雷を伴い大雨となった。日降水量 横浜 34mm 丹沢湖 137mm 海老名 54mm
	8.21	大 雨 (寒気流入、 大気不安定)	住家一部破損 6棟 床上浸水 154棟 床下浸水 285棟 がけ崩れ 17箇所 り災世帯数 219世帯 り災者数 588人	20日の午後には上空に寒気が入った。このため大気不安定となり、夕方より翌日の21日の早朝にかけて、横浜・川崎を中心に局地的な激しい雷雨となった。総降水量 横浜 263mm 相模原 102mm 日 吉 99mm 海老名 60mm 辻 堂 44mm
	9.2	大 雨	床上浸水 3棟 床下浸水 8棟 り災世帯数 3世帯 り災者数 8人	2日は高気圧におおわれて晴れたが、午後から夕刻にかけて一時雷雨となった。
H 7	4.23	強 風	住家一部破損 4棟	23日は低気圧が日本海を発達しながら東へ進み、夕方まで雨となり日中は大風を伴った。最大瞬間風速 横浜 WSW 33.0m/s
	6.4	大 雨 (低気圧の通過)	床下浸水 3棟	3日から4日にかけて、低気圧の通過により大雨となった。3日は低気圧が接近し、曇りから夜半は大雨となった。4日は低気圧の通過による前夜からの大雨が早朝には止み、日中は曇りとなった。
	9.16 ~17	台 風 12号	負傷者(重傷) 3人 住家半壊 1棟 住家一部破損 62棟 り災世帯数 1世帯 り災者数 3人	16日は日本の南海上を台風12号が北上中であり、関東の南岸にある前線を刺激し、夕方から大雨となった。17日は台風12号が房総半島の東を通過し、昼過ぎまで暴風雨となった。最大瞬間風速 横浜 N 33.0m/s

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
H 8	7.21	大 雨	住家一部破損 1棟 床下浸水 5棟 がけ崩れ 1箇所	21日は台風6号から変わった熱帯低気圧の通過に伴い、早朝より雷雨による大雨となったが昼頃には止み後曇りとなった。
	8.18	大 雨	床上浸水 4棟 床下浸水 22棟 り災世帯数 4世帯 り災者数 16人	18日は南岸に停滞した低気圧の影響で積乱雲が発生し、曇りで昼過ぎから晴れた。一部の地域では雷雨による浸水の被害があった。
	9.22	台 風 17号	負傷者(軽傷) 2人 住家全壊 2棟 住家半壊 7棟 住家一部破壊 296棟 床上浸水 2棟 床下浸水 2棟 がけ崩れ 5箇所 り災世帯数 28世帯 り災者数 43人	22日は台風17号が八丈島の南西海上から房総半島の東海上を通過し、雨で日中暴風雨となった。
H 9	6.20	台 風 7号	負傷者(重傷) 1人 負傷者(軽傷) 5人 住家一部破損 27棟	20日は台風7号が愛知県東部から山梨県を通過し、早朝から大雨となり、昼頃より暴風となった。
	8.23	大 雨	床上浸水 4棟 床下浸水 13棟 り災世帯数 7世帯 り災者数 12人	23日は高気圧におおわれてはれたが、午後になり上空に寒気が入り後半には強い雷雨となった。
	8.25	大 雨	床上浸水 8棟 床下浸水 9棟 り災世帯数 8世帯 り災者数 28人	25日は関東南岸に低気圧が停滞し、日中は曇りで夕方から雷雨となった。
H 10	3.20	暴 風	負傷者(重傷) 2人 負傷者(軽傷) 13人 住家一部破損 3棟	20日は間宮海峡付近で発達した低気圧が東北東へ進み、これから延びる寒冷前線が関東地方にかかり、昼前頃から県下一帯に「暴風・波浪警報」が発令された。
	7.30	大 雨	住家一部破損 3棟 床上浸水 90棟 床下浸水 171棟 り災世帯数 141世帯 り災者 322人	30日は関東の東海上に低気圧があり、県下には南から暖かく湿った空気が入り込んだ。午後からは強い寒気団も南下し大気が非常に不安定となり、雷とともに激しい雨となった。
	9.15	台 風 5号	負傷者(軽傷) 1人 住家一部破損 1棟 床上浸水 3棟 り災世帯数 3世帯 り災者 8人	大型で並の強さの台風5号が15日の夕方から関東・東海地方にかけ接近し、16日の早朝4時頃に御前崎付近に上陸、そのまま北北東へ進んだ。この影響により県下では雷を伴った激しい雨となった。

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
H 11	7.13	大 雨	住家一部破損 5棟 床下浸水 1棟	13日は日本の南海上にある熱帯低気圧が北東へゆっくり進み、その影響で神奈川県では南海上から湿った空気が入り、14日にかけて雷を伴った断続的な強い雨が降った。これにより、河川増水による水防警報が発令され、市域の広範囲で崖崩れ、土砂流出等の災害が発生した。
	7.21	大 雨	床上浸水 4棟 床下浸水 12棟 り災世帯数 4世帯 り災者数 7人	21日は東北地方を通る梅雨前線に向かって南から湿った空気が入り込み、日中の気温が真夏並みに上昇し、大気が不安定となり強い雷雨が発生し大雨となった。これにより、河川増水による水防警報が発令され、市域の広範囲で浸水、停電等の災害が発生した。
	10.27	大 雨	床上浸水 2棟 床下浸水 1棟 り災世帯数 3世帯 り災者数 7人	27日は発達した低気圧が紀伊半島付近から東海沖に進み、その影響で県東部では南海上から暖かく湿った空気が入り込み、雷を伴った強い雨が降った。これにより、市域北部を中心に浸水等の被害が発生した。
H 12	7.7	台 風 3 号	住家一部破損 2棟 床上浸水 1棟 り災世帯数 2世帯 り災者数 6人	7日は台風3号が接近し、8日には関東の南海上を北上し房総半島の東海上を通過して東北地方の東海上に進んだ。このため県内では7日の夕方から雨が強まり、8日に入り風も強まって朝のうちまで続いた。この台風の影響で横浜では1日降水量が7日に58.5ミリ、8日には110ミリとなり、神奈川県全域に大雨・洪水警報が発令された。
	9.16	大 雨	床上浸水 1棟 床下浸水 8棟 り災世帯数 1世帯 り災者数 4人	16日は秋雨前線が日本海にあり、台風14号は九州の西海上に進み、台風17号は日本の南海上を北東に進んだ。横浜での降水量は66.5ミリで、神奈川県全域で大雨・洪水警報が発令された。
H 13	7.25	大 雨	床上浸水 107棟 床下浸水 144棟 り災世帯数 123世帯 り災者数 322人	神奈川県内では25日上空に寒気が入り、日射の影響もあって大気の状態が非常に不安定となった。東部では昼過ぎから夕方にかけて、西部では夜遅くから26日午前3時頃にかけて短時間に雷を伴う激しい雨が降った。
	9.10	台 風 15 号	負傷者(軽傷) 1人 住家一部破損 33棟 床上浸水 4棟 り災世帯数 4棟 り災者数 9人	台風15号は10日朝に紀伊半島の南海上にあつて、次第に北東に向きを変え11日9時30分頃、半径60kmの暴風半径を持って鎌倉市付近に上陸し、11時頃横浜市付近を通過し北東に進んだ。台風が東海沖に進んだ10日から断続的な降水となり、西部を中心に一時激しい降水となった。

年	月日	種 別	主な被害状況	備 考
H 14	7.16	台 風 7 号	住家一部破損 1棟 床上浸水 8棟 床下浸水 41棟	四国沖を通り紀伊半島の南端をかすめて16日朝に伊豆半島南部に上陸した台風7号の影響によって、15日夕方から16日昼過ぎまで大雨となった。
	9.6	大 雨	床上浸水 3棟 床下浸水 2棟	東北地方の北部から北陸に伸びる秋雨前線に向かって南から暖かい空気が入り込み、大気の状態が非常に不安定となって、県内では局地的に雷を伴う激しい雨となった。
	10.1	台 風 21 号	負傷者(軽傷) 5人 住家一部破損 7棟	9月27日に発生した台風21号は、強い勢力を保ちながら北上を続け、1日20時頃に三浦半島を通過し、20時30分頃川崎付近に上陸した。その後も強い勢力を維持して関東地方から東北地方の太平洋側を足早に北上した。
H 15	3.1	大 雨	住家一部破損 3棟 床上浸水 63棟 床下浸水 147棟	関東の南岸を低気圧が発達しながら通過したため、神奈川県内では1日の昼過ぎから降水が始まり、宵のうちから局地的に1時間に40mmを超える激しい雨となった。
	5.31	大 雨	住家一部破損 2棟 床上浸水 2棟 床下浸水 3棟	31日9時に台風4号から変わった温帯低気圧が瀬戸内海から近畿地方をゆっくりと北東に進んだ。この台風や低気圧の影響で県内は昼前から昼過ぎにかけて局地的に非常に激しい雨が降った。
	8.15	大 雨	住家一部破損 3棟 床上浸水 2棟	関東の南岸に停滞する前線の活動が活発化し、影響で14日夜遅くから15日まで大雨となった。

※この資料は横浜市が「地域防災計画」作成のために、独自に収集した災害資料等により作成したものです。このため、記載されている内容はその単位も含めて、取り扱っている機関で用いるものとは異なっている場合があることに留意願います。